

次の世代へ 豊かな海を残そう

「もずく基金」産地見学・生産者交流会 報告 8月23日～25日

2016年夏、「もずく基金」産地見学・生産者交流会が開催され、コープかがわから1組の組合員さん親子と職員1名が参加。海の環境を守り育てる大切さを、生産者さんから直接お聞きしました。コープかがわでは、中国地方5生協と共に、恩納村漁業協同組合がすすめる“里海づくり サンゴ礁再生事業”を応援しています。

◀移植したサンゴがサンゴの森を作り、魚たちの棲みかとなっています。



▲もずくの収穫は、海中に潜り、バキュームで吸い上げます。

「もずく基金」で、
サンゴが3,530本まで
増えました!



わたしたちに
できること!
「もずく基金」

▶サンゴが白くなり、
やがて死んでしま
う「白化現象」



豊かな海に欠かせないサンゴ礁。今、地球温暖化による海水温上昇や、オニヒトデの異常発生による被害などで、サンゴの死につながる白化現象が進んでいます。

コープのもずくの産地である沖縄県恩納村の漁協組合では、サンゴ礁の再生活動を行っています。「もずく基金」は、組合員さんが対象商品を利用することによって基金を積み立て、サンゴを養殖し、恩納村の海のサンゴ保全に役立てられています。



◀サンゴの養殖により、サンゴを早く回復させることができます。



▶オニヒトデの
駆除の様子

美味しいもずくの生産と 環境保全に努めます

恩納村漁協 青年部長/金城 勝さん



恩納村のもずくをご利用いただき、ありがとうございます。学習会や交流会で組合員さんとふれあうことで、「より美味しいもずくの生産をしよう」「環境保全につなげていこう」と強く考えるようになりました。

近年では気象変動の幅が大きくなり、今年は沖縄県では歴史的に初めて雪が降りました。この影響でもずくの生産は大打撃を受け、過去最悪の不作となり、組合員さんにはもずくを安定供給ができないことを深くお詫び致します。

私たちが作ったもずくが多くの組合員さんに食されることにより、サンゴ礁保全事業に活用され、次世代の子ども達に豊かな海を継承することが出来ると信じて、日々の仕事にやりがいを感じています。

これからも安心・安全な美味しいもずくを生産いたしますので、末永いご支援をご協力お願い致します。

2015年度「もずく基金」贈呈式を開催



コープかがわと中国地方の5生協(鳥取・島根・岡山・広島・山口)で、総額2,024,892円を恩納村漁協組合に贈呈しました。この基金をもとに720本のサンゴ植え付けを予定しています。



もずく基金対象商品
▲このマークが目印です。

- サンゴが育てた太もずく(三杯酢)
- 恩納村産味付糸もずく
- お弁当用もずく(三杯酢) など12品

【もずく基金対象商品】



カップの中にもずくを
たっぷり入れています!

タレは添加物や保存料を一切使わず、雑味のない味付けとなっておりますので、タレの最後の一滴まで美味しくお召し上がりいただけます。

(株)井ゲタ竹内 営業部/辻窪 昌幸さん
(恩納村のもずくは、鳥取県境港市の(株)井ゲタ竹内さんで加工されています。)

